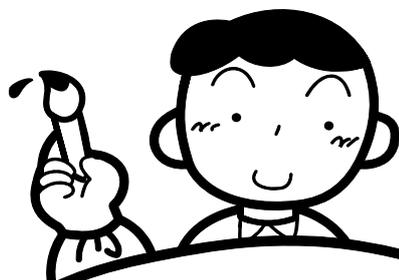


第30回 公民館祭り

2/28~29
赤平市公民館にて



展示部門

- ◆28日(土), 29日(日)
午前 時から午後 時まで
- ◆ 絵画、書道、陶芸、写真など公民館サークルの皆さんの力作が勢ぞろい。一見の価値はありますよ!!

芸能部門

★29日(日)

午前11時から午後2時まで
(お間違いのないようにお越してください。)

★ダンス、詩吟、カラオケ、舞踊
など、公民館サークルの皆さんの熱のこもった発表を
どうぞご覧ください。



生活(バザー)部門

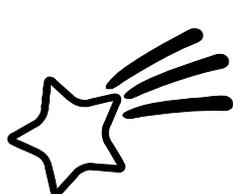
★29日(日)

午前11時から午後2時まで
(お間違いのないようにお越してください。)

- ★ 会場:2階特設食堂(第二会議室)
- ★



ラビカを今年もよろしくね♡



きらきらひかる

今年もいろいろな分野で活躍されている“きらきらひかっている”赤平の皆さんをご紹介します。

「島民の方と直接対話」 小野富雄さん〔住友在住〕

市内に北方領土の島の生まれで、現地の方と直接ロシア語でお話される方がおられます。その方は、住友住吉町の小野富雄さんです。

小野さんは、昭和4年8月4日に千島国国後島字泊村字ウエンナイでお生まれになり、同22年11月17日に函館に引き上げてくるまでの19年間を国後島で過ごされました。現在「千島歯舞居住者連盟会員」として「北方領土返還」に向けて様々な活動でご活躍されております。中でも、平成2年から今年まで間で10回に渡り、「ビザなし交流」に参加されました。その中で去年のことが最も印象的だったと言われています。それは政府の沖縄及び北方対策担当大臣・細田博之氏が現地での討論会の折、「過去に色々あったが、今後は共存共栄という案も視野に入れて」の発言だと言われています。これに対して現地の行政指導員は「最終決定はプーチン大統領にある」との返答をしたと言います。お話を伺い、小野さんの「一日も早い返還を」の気持ちが痛いほど伝わってきました。

今年6月、ロシアの高校生が来赤します。小野さんは快く通訳を申し出られ、その時を楽しみにされております。

【取材・文:Y田K法】